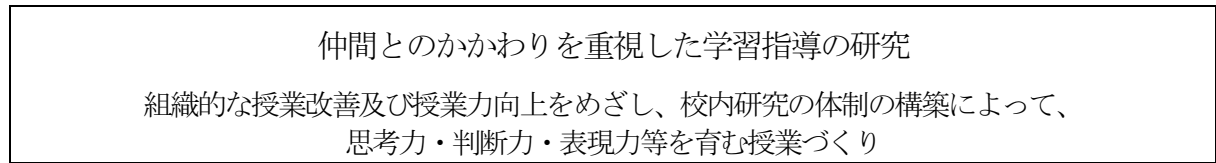


1. 研究テーマ



2. 研究組織図



3. 研究内容・方法

研究内容	研究方法
- 各チームで津野町の授業スタンダードについて特に「課題の設定」「グループ学習」「まとめ」「振り返り」の徹底を図り、資質能力ベースの授業づくりに努める。 - 各チームで定期的に取り組を振り返り、改善策を検討する。 - 各チームで各種調査(全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査)の結果について共通理解し、授業づくりに生かす。	- 各チームで1人1回研究授業(西留先生指導日、津野町の研究協議会、県指定事業研究発表会を含む)と、1人4回の公開授業を行う。 - チーム会で全校研究授業およびチーム会研究授業の指導案検討等を行う。 - 毎月、チームごとに授業参観を行う。 - 指導案検討ではカリキュラム表や本年度作成した指導案検討会資料を用いて、資質能力ベースの話し合いをする。また、事後研においても出された意見を重点的に育成をめざす4つの資質・能力にグルーピングし、整理する。 - 年度当初の研修職員会において、授業スタンダードおよびチーム会の運営等、研究の進め方を周知する。 - 参観授業、事後研の課題、改善策をもとに月ごとに総括、次の月の重点目標を設定し、学力部会で共有する。 - 毎学期、チームごとに総括をし、改善策を検討し、研修職員会において全体で共有する。 - 年度末に、チームごとに総括をし、改善策を検討し、研修職員会において全体で共有する。 - 各種調査について、教科担当が中心となって結果についての分析をし、それを研修職員会において全教職員で共有する。

※週1回時間割の中にチーム会を組み込む

4. 検証計画

指標・検証方法	達成目標	時期
学習状況アンケート	肯定的意見 全項目90%以上	H30年 5月・10月 ・2月
高知県学力定着状況調査	1、2年全教科県平均+5ポイント以上	H31年1月